

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



新年あけましておめでとございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政に対する格別なご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

はじめに、昨年8月の台風で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。昨年8月は、北海道に3つもの台風が上陸し、8月23日には、台風9号が新ひだか町付近に上陸し当町にも大きな被害をもたらしました。

主な被災状況としては、土木施設では道路の冠水や流出、農業被害として田・畑・草地・ビニールハウスへの土砂の流入、また、水道施設への被害や漁業被害、住宅への被害も多数発生しました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、被害総額は10億円を超えるなど、大きな災害となりました。

町といたしましては、現在も通行止めとなっている道路があることから、一日も早い完全復旧に向け取り組むとともに、危機管理体制の充実に努め、町民の皆さんが安全安心で暮らせるよう、災害に強いまちづくりに向け取り組んでいきます。

昨年の話題としましては、10月に平成27年度国勢調査の結果が公表されました。

当町の人口は5592人で、平成22年からの5年間で183人減少し、減少率は3.2%という結果となりました。これは、人口増加に転じることはできなかったものの、全道179市町村では21番目に減少率が低く、日高管内では最も減少率が低い自治体という結果となり、平成19年から続けてきた定住移住施策が一定の成果を見せたと考えております。

人口減少・少子高齢化の問題に対しましては、昨年、有識者会議や町民の皆さまとの意見交換を経て地方創生に向けた「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定したところでありますので、この計画に基づき、引き続き人口確保対策を進めてまいります。

第一次産業の分野では、基幹作目であるピーマンが、作付面積の増加により、販売額は前年の販売記録をさらに更新し6億6428万円となり、肉用牛につきましては、主力の黒毛和牛の素牛販売が市場での高値取り引きにより、前年の売却額を1億5000万円ほど上回る7億5598万円、肥育牛販売が売却頭数の増加により、前年の売却額を4400万円ほど上回る1億8221万円となりました。

また、軽種馬におきましても、軽種馬市場に明るい兆しが見えており、昨年の北海道市場における町内生産馬の販売取り引きは、前年売却額を2億8789万円ほど上回る13億9773万円という結果となっており、生産者のご努力や関係機関の振興策が着実に実を結んでいると考えております。

さらに、文化やスポーツの分野におきましても、全国や全道の大会に出場し素晴らしい成績を収められるなど、町民の皆さまが目覚ましい活躍をされたことは大変に喜ばしいことであり、新冠の誇りであります。

本年におきましても、町民の皆さまと一体となったまちづくりを行い、「小さくてもキラリと光るまち」「小さいからこそできる心あたたかいまち」の実現に向け取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。